

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1. 会員現況

	令和3年3月31日	令和2年3月31日	増減
会員総数	11,378名	11,520名	△142名
医師	10,987名	11,133名	△146名
医師以外	307名	320名	△13名
専門職会員	84名	67名	17名

(名誉会員・功労会員含む)

入会 460名

退会 597名

退会者には会費の2年間滞納による資格喪失者284名含む

物故会員 (敬称略)

やまぎしつよし しみずかずや えびはらけん たかやなぎさいこ あづちこうし まえだけんじ ほらだまさよし しばまさくに
山岸 豪、清水和也、海老原謙、高柳彩子、安土考史、前田謙而、原田雅義、司馬正邦、

やのひでお たけうちしょうじ たなかひさしきのしたせいぞう ちだとみよし またよしさとる じんないかずほ
矢野英雄、武内章二、田中久、木下成三、千田富義、又吉達、陣内一保 (功労会員)、

てらいたるますおかあきお いのはらただし やまがみじろう いまばやしまさあき うちがしまひであき かんおくにやす
寺井格、増岡昭生、猪原正史、山上二郎、今林正明、内賀嶋英明、官尾邦康、

そぶえいつろう ちばけんいち つだせいいち
祖父江逸郎 (名誉会員)、千葉健一、津田精一

2. 役員、代議員、各種委員会委員

役員

理事長1名 副理事長5名 理事14名 監事3名

代議員

349名

各種委員会委員

①危機管理・利益相反委員会	9名
②財務委員会	6名
③国際委員会	5名
④教育委員会	8名
⑤広報委員会	11名
⑥会則検討委員会	5名
⑦倫理委員会	5名
⑧選挙制度委員会	8名

⑨選挙管理委員会	8名
⑩専門医制度委員会	9名
⑪試験委員会	17名
⑫認定委員会	12名
⑬先端医療・機器委員会	10名
⑭障がい者福祉委員会	5名
⑮社会保険委員会	10名
⑯男女共同参画委員会	10名
⑰国内誌編集委員会	10名
⑱国際誌編集委員会	10名
⑲診療ガイドライン委員会	5名
⑳研修会等委員会	10名
㉑評価・用語委員会	10名
㉒ICF・データマネジメント委員会	7名

3. 学術集会の開催について

- (1) 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会を、令和2年8月19日（水）、20日（木）、21日（金）、22日（土）の4日間、国立京都国際会館およびWebを組み合わせたハイブリッド形式にて開催した。
- (2) 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を、令和2年11月20日（金）、21日（土）、22日（日）の3日間、神戸コンベンションセンターおよびWebを組み合わせたハイブリッド形式にて開催した。

4. 諸会議

- (1) 代議員総会の開催
令和2年8月18日

- (2) 理事会の開催
 - 第1回 令和2年5月14日～16日（メール審議による理事会）
 - 第2回 令和2年6月20日（Web開催）
 - 第3回 令和2年8月18日（Webを併用しての開催）
 - 第4回 令和2年8月18日（役員改選後最初の理事会、Webを併用しての開催）
 - 第5回 令和2年9月26日（Webを併用しての開催）
 - 第6回 令和2年11月20日（Webを併用しての開催）
 - 第7回 令和3年1月16日（Webを併用しての開催）
 - 第8回 令和3年3月13日（Webを併用しての開催）

- (3) 理事長直轄委員会の開催

- 1) パラリンピック・障がい者スポーツ委員会 8名
3回
- 2) 専門医委員会 8名
1回（他専用掲示板およびメール審議を適時開催）
- 3) 関連専門職委員会 7名

- 2回
- 4) 学術集会検討委員会 15名
今年度の開催なし
- 5) 教材作成委員会
今年度の開催なし
- 6) 将来構想委員会 11名
今年度の開催なし

(4) 各種委員会の開催

- | | |
|--|---------------------------|
| ①危機管理・利益相反委員会 | 今年度の開催なし |
| ②財務委員会 | 今年度の開催なし |
| ③国際委員会 | 4回 |
| ④教育委員会 | 4回 (他メール審議を適時開催) |
| ⑤広報委員会 | 1回 (他メール審議を適時開催) |
| ⑥会則検討委員会 | 8回 (うちメール審議8回) |
| ⑦倫理委員会 | 今年度の開催なし |
| ⑧選挙制度委員会 | 今年度の開催なし |
| ⑨選挙管理委員会 | 1回 (うちメール審議1回) |
| ⑩専門医制度委員会 | 6回 (うちメール審議6回) |
| ⑪試験委員会 | |
| 10回 (筆記試験担当1回、口頭担当1回、筆記・口頭合同8回) | |
| ⑫認定委員会 | |
| 11回 (資格担当Web会議1回、施設担当6回 (うちメール審議6回)、資格・施設合同4回) | |
| ⑬先端医療・機器委員会 | 1回 |
| ⑭障がい者福祉委員会 | 1回 |
| ⑮社会保険委員会 | 9回 (社会保険・障がい者福祉委員会の3回を含む) |
| ⑯男女共同参画委員会 | 2回 |
| ⑰国内誌編集委員会 | 6回 |
| ⑱国際誌編集委員会 | 3回 (他メール審議を適時開催) |
| ⑲診療ガイドライン委員会 | |
| ・診療ガイドラインコア委員会1回、脳卒中治療ガイドライン2021策定委員会3回、 | |
| ・臨床医のための脳卒中・脳外傷者の自動車運転に関する指導指針策定委員会1回、 | |
| ・感染対策指針策定委員会2回、その他小委員会及びメール審議を適時開催 | |
| ⑳研修会等委員会 | 11回 (うちメール審議9回) |
| ㉑評価・用語委員会 | 2回 |
| ㉒ICF・データマネジメント委員会 | 今年度の開催なし |

(5) 全国医学部リハビリテーション科連絡会の開催

全国医学部リハビリテーション科連絡会を令和2年11月20日(金)に神戸国際展示場にて開催し、新専門医制度状況に関して、令和2年度までの専攻医採用状況、令和3年度に向けた専門医制度全体としての動向及びリハビリテーション科領域・医学会としての動向、新たな地域貢献率の考え方等の説明と新型コロナウイルス感染症の対応についての意見交換を行った。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送
各種委員会委員（特別委員等を含む） 94名

6. 後援・協賛等依頼

- | | |
|--|------|
| (1) 第9回ロボット大賞
(経済産業省製造産業ロボット大賞事務局) | 協力依頼 |
| (2) 令和2年度リウマチ月間リウマチ講演会
(公益財団法人 日本リウマチ財団) | 後援名義 |
| (3) 第42回 全国デイ・ケア研究大会 2020 in 倉敷
(一般社団法人 全国デイ・ケア協会) | 後援名義 |
| (4) 令和2年度リウマチの治療とケア教育研修会
(公益財団法人 日本リウマチ財団) | 後援名義 |
| (5) ヒューマンインタフェースシンポジウム 2020
(ヒューマンインタフェース学会) | 協賛 |
| (6) 2020年度脳卒中週間ポスター
(公益社団法人 日本脳卒中協会) | 共催名義 |
| (7) 令和2年度義肢装具等適合判定医師研修会
(国立障害者リハビリテーションセンター) | 後援名義 |
| (8) 令和2年度リウマチ月間リウマチ講演会（開催変更）
(公益財団法人 日本リウマチ財団) | 後援名義 |
| (9) 第28回日本慢性期医療学会
(一般社団法人 日本慢性期医療協会) | 後援 |
| (10) 第8回慢性期リハビリテーション学会（WEB開催）
(日本慢性期医療協会・慢性期リハビリテーション学会) | 後援 |
| (11) 2020年度（令和2年度）てんかんを正しく理解する月間
(公益社団法人 日本てんかん協会) | 協賛名義 |
| (12) 第18回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 高知 2021
(一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会) | 後援名義 |
| (13) 第7回日本医療安全学会学術総会
(一般社団法人 日本医療安全学会) | 後援名義 |
| (14) AYWeek2021
(一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会) | 後援名義 |
| (15) 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会
(一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会) | 後援名義 |
| (16) リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫 2021
(一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会、他4団体) | 後援名義 |
| (17) 第55回日本理学療法学術研修大会 2020 in おおいた
(公益社団法人 日本理学療法士協会) | 後援名義 |
| (18) 令和3年度リウマチ月間リウマチ講演会
(公益財団法人 日本リウマチ財団) | 後援名義 |
| (19) 第55回日本作業療法学会
(一般社団法人 日本作業療法士協会) | 後援 |
| (20) 第29回日本慢性期医療学会
(一般社団法人 日本慢性期医療協会) | 後援 |
| (21) 第2回福祉用具専門相談員研究大会
(一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会) | 後援 |

- (22) 第4回日本リンパ浮腫学会総会
(一般社団法人 日本リンパ浮腫学会)

後援

7. 会誌の発行

- (1) 会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」第57巻第4号～第12号、第58巻第1号～第3号計14冊、第57回学術集会抄録集、第4回秋季学術集会抄録集を発行した。
- (2) 英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」(オンラインのみによる投稿誌)を運営し、令和2年は新規に31編の投稿論文を掲載した。

8. 広報誌の発行

新型コロナウイルス感染症により取材等が困難なため、広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュースNEXT!」3号の発行を来期に延期した。

9. ホームページの管理・運営

各委員会からの広報要請に対応し、随時ホームページにおいて告知した。

10. 教育及び研修

(1) 卒後実習研修会

- ・脊損尿路管理研修会
期 日 令和2年12月5日～6日
会 場 総合せき損センター
※新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止
- ・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース
期 日 令和2年9月6日～7日・10月26日
会 場 岡山国際交流センター他
※新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止
- ・小児のリハビリテーション実習研修会
期 日 令和2年2月6日～7日
会 場 北九州市立総合療育センター
※新型コロナウイルス感染症のため開催中止
- ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会
期 日 令和2年10月24日～25日
会 場 慶応義塾大学医学部2号館臨床講堂兼大会議室11階
※新型コロナウイルス感染症のため開催中止
- ・職業リハビリテーション研修会
期 日 令和2年10月18日～19日
会 場 吉備高原医療リハビリテーションセンター他
※新型コロナウイルス感染症のため開催中止
- ・(令和2年度第1回)嚥下障害実習研修会
期 日 (Web 講義)令和3年1月16日

(実習)今後実施予定

会 場 浜松市リハビリテーション病院他

※実習については新型コロナウイルス感染症のため次年度実施予定

- ・ (令和2年度第2回) 嚥下障害実習研修会

期 日 令和3年1月30日～31日

会 場 浜松市リハビリテーション病院他

※新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止

- ・ 動作解析・運動学実習研修会

期 日 令和3年3月18日～19日

会 場 Web 開催

受講者数 24名

- ・ リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会

期 日 令和3年2月6日～7日

会 場 Web 開催

受講者数 42名

(2) 学術集会研修会

期 日 令和2年8月19日～22日

会 場 国立京都国際会館およびweb

受講者数 1609名

(3) 秋季学術集会研修会

期 日 令和2年11月20日～22日

会 場 神戸コンベンションセンターおよびweb

受講者数 1245名

(4) 実践リハビリテーション医学研修会

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、今年度の研修会のすべてを来年度に延期することとなった。

(5) 急性期・回復期リハビリテーション医師研修会

- ・ 「令和2年度「急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会」」

期 日 令和2年10月17日～18日

会 場 Web 開催

受講者数 128名

- ・ 「令和2年度回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会【アドバンスコース】」

期 日 令和2年12月5日～6日

会 場 Web 開催

受講者数 250名

(6) 生涯教育研修会

日本リハビリテーション医学会主催「医療倫理・医療安全・感染対策講習会」

- ・期 日 令和2年8月22日
- 会 場 国立京都国際会館 アネックス1・2およびWeb
- 受講者数 626名

日本リハビリテーション医学会主催「医療倫理・医療安全・感染対策講習会」

- ・期 日 令和2年11月22日
- 会 場 神戸国際会議場 1階メインホールおよびWeb
- 受講者数 400名

北海道ブロック

- ・期 日 令和2年4月18日
- 会 場 北海道大学医学部臨床大講堂
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
- ・期 日 令和2年10月10日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 47名

東北ブロック

- ・期 日 令和2年10月3日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 66名
- ・期 日 令和2年11月1日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 48名
- ・期 日 令和3年2月27日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 79名

関東ブロック

- ・期 日 令和2年9月27日
- 会 場 順天堂大学新研究棟（A棟）講堂
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
- ・期 日 令和2年10月3日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 21名
- ・期 日 令和3年2月7日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 187名

北陸ブロック

- ・期 日 令和2年8月29日
- 会 場 ホテル金沢
- 受講者数 30名
- ・期 日 令和2年12月12日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 8名
- ・期 日 令和3年2月27日
- 会 場 Web開催
- 受講者数 36名

中部・東海ブロック

- ・期 日 令和2年8月29日～9月6日
- 会 場 Web開催
- ※一般演題発表のみで生涯教育研修会は中止。

- ・期日 令和3年2月27日
会場 Web開催
受講者数 83名

近畿ブロック

- ・期日 令和2年9月13日
会場 Web開催
受講者数 47名
- ・期日 令和2年10月3日
会場 Web開催
受講者数 31名
- ・期日 令和3年2月6日
会場 Web開催
受講者数 37名
- ・期日 令和3年3月28日
会場 宝塚医療大学和歌山保険医療学部キャンパス
受講者数 102名

中国・四国ブロック

- ・期日 令和2年7月19日
会場 岡山大学医学部臨床講義棟
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
- ・期日 令和3年2月20日
会場 Web開催
受講者数 37名

九州ブロック

- ・期日 令和2年9月21日
会場 Web開催
受講者数 157名
- ・期日 令和3年2月14日
会場 長崎県医師会館(Web開催とのハイブリッド開催)
受講者数 76名

(7) e-learning の開講

会員を対象に平成30年11月から開講し、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により研修会の収録が中止となり、1講座(4コンテンツ)のみの追加となった。

今期は延べ545名が受講した。会員は無料で受講が出来、受講による単位取得(有料)も可能とした。

(8) テキストの監修

- ①回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト
- ②総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト
- ③社会活動支援のためのリハビリテーション医療・医学テキスト

リハビリテーション科医及び関連専門職の教材として、学会監修による回復期のリハビリテーション医学・医療テキストが令和2年8月、総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキストが令和3年2月、社会活動支援のためのリハビリテーション医学・医療テキ

トが令和3年3月に出版された。

1 1. 専門医、認定臨床医の認定

(1) 令和元年度(8月18日実施)専門医認定者数	123名
※昨年度延期となった分	
令和2年度(1月21日実施)専門医認定者数	113名
令和3年3月末現在専門医数	2,728名
(2) 令和元年度(8月18日実施)認定臨床医者数	26名
※昨年度延期した分	
令和2年度(1月21日実施)認定臨床医者数	19名

日本整形外科学会との連携により、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医を対象とする認定臨床医資格取得講習会を開催し172名を認定した。

令和3年3月末現在認定臨床医数	3,936名
-----------------	--------

1 2. 指導医の認定

令和2年度指導医認定者数	65名
令和3年3月末現在指導医数	1,299名

1 3. 研修施設の認定

令和2年度研修施設認定数	45施設
令和3年3月末現在研修施設数	658施設

1 4. リハビリテーション医学啓発活動

新型コロナウイルス感染症拡大により、北海道地方会及び中部・東海地方会主催による市民公開講座を来期開催に順延した。

1 5. 学術研究の奨励

- (1) 本学会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」に掲載された論文のうち最優秀論文一編を表彰した。
- (2) 英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」に掲載された論文のうち最優秀論文、優秀論文各一編を表彰した。
- (3) 若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修補助を決定した。
ただし年度末(2021年3月31日)までに渡航が不可能な場合、来年度末(2022年3月31日)まで補助対象の期間を延長した。
- (4) 外国人リハビリテーション科医への短期交流研修補助金を決定した。

ただし年度末(2021年3月31日)までに渡航が不可能な場合、来年度末(2022年3月31日)まで補助対象の期間を延長した。

16. PMC-PubMed 掲載

国際誌 Progress in Rehabilitation (PRM 誌) が2020年5月にPMC-PubMed の掲載審査を通過、10月にPubMed 掲載誌となった。PMC-PubMed に創刊以来すべての掲載論文が掲載され、国際レベルの検索対象となった。2020年は31編の論文を公表した。

事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	167,348,073	170,679,065	△ 3,330,992
未収金	1,467,813	323,381	1,144,432
前払金	709,640	6,129,802	△ 5,420,162
立替金	3,344,000	4,356,000	△ 1,012,000
仮払金	15,000,000	5,000,000	10,000,000
流動資産合計	187,869,526	186,488,248	1,381,278
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
学術研究助成積立資産	60,000,000	60,000,000	0
学術集会事業積立資産	10,001,320	10,001,220	100
退職給付引当資産	3,100,402	2,422,486	677,916
特定資産合計	73,101,722	72,423,706	678,016
(3) その他固定資産			
建物附属設備	6,824,573	7,779,208	△ 954,635
什器備品	674,707	827,058	△ 152,351
ソフトウエア	19,966,534	25,931,392	△ 5,964,858
保証金	3,630,250	3,630,250	0
長期貸付金	2,885,600	2,885,600	0
その他固定資産合計	33,981,664	41,053,508	△ 7,071,844
固定資産合計	207,083,386	213,477,214	△ 6,393,828
資産合計	394,952,912	399,965,462	△ 5,012,550
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,424,132	885,705	7,538,427
前受金	820,000	1,210,360	△ 390,360
預り金	401,594	477,344	△ 75,750
未払消費税等	1,145,400	1,186,700	△ 41,300
流動負債合計	10,791,126	3,760,109	7,031,017
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,100,402	2,422,486	677,916
固定負債合計	3,100,402	2,422,486	677,916
負債合計	13,891,528	6,182,595	7,708,933
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	381,061,384	393,782,867	△ 12,721,483
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	70,001,320	70,001,220	100
正味財産合計	381,061,384	393,782,867	△ 12,721,483
負債及び正味財産合計	394,952,912	399,965,462	△ 5,012,550

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	9,477	9,477
基本財産受取利息	0	9,477	9,477
特定資産運用益	3,509	0	3,509
学術研究助成基金受取利息	3,509	0	3,509
受取会費	85,507,608	85,507,608	171,015,216
正会員受取会費	81,258,108	81,258,108	162,516,216
賛助会員受取会費	3,400,000	3,400,000	6,800,000
専門職会員会費	448,250	448,250	896,500
臨時会員会費	401,250	401,250	802,500
事業収益	381,096,488	0	381,096,488
学術集会事業収益	330,930,541	0	330,930,541
学術集会収益	230,173,397	0	230,173,397
秋季学術集会収益	100,757,144	0	100,757,144
会誌等発行事業収益	5,230,170	0	5,230,170
広告料収益	1,771,000	0	1,771,000
会誌販売収益	1,103,296	0	1,103,296
著作権料収益	2,055,874	0	2,055,874
論文掲載料	300,000	0	300,000
専門医等認定事業収益	24,616,000	0	24,616,000
審査料収益	2,064,000	0	2,064,000
登録料収益	2,986,000	0	2,986,000
更新料収益	19,566,000	0	19,566,000
研修会事業収益	14,890,490	0	14,890,490
病態別・実践研修会収益	50,490	0	50,490
研修会認定収益	900,000	0	900,000
急性期等リハ医師研修会収益	13,780,000	0	13,780,000
臨床研修医医師向けリハ研修会収益	160,000	0	160,000
e-learning事業収益	5,420,583	0	5,420,583
e-learning認定料	2,420,583	0	2,420,583
e-learning転載許諾料	3,000,000	0	3,000,000
証明書等収益	8,704	0	8,704
会員・在籍証明書収益	8,704	0	8,704
受取補助金等	7,184,316	0	7,184,316
受取寄付金	400,000	0	400,000
雑収益	5,458,311	5,276	5,463,587
受取利息	0	5,276	5,276
雑収益	5,458,311	0	5,458,311
経常収益計	479,650,232	85,522,361	565,172,593
(2) 経常費用			
事業費	558,663,181	0	558,663,181
学術集会事業費	342,806,666	0	342,806,666
印刷通信費	275,517	0	275,517
事務局経費	83,380	0	83,380
学術集会事業費	235,023,568	0	235,023,568
秋季学術集会事業費	107,424,201	0	107,424,201
会誌発行費	59,673,592	0	59,673,592
英文ジャーナル発行費	9,596,097	0	9,596,097
各種委員会・旅費、会場費	1,299,104	0	1,299,104
各種委員会・経費	4,619,550	0	4,619,550
専門医等認定事業費	7,397,285	0	7,397,285
研修会事業費	7,858,074	0	7,858,074
急性期等リハ医師研修会費	2,918,407	0	2,918,407
臨床研修医等向けリハ研修会	319,667	0	319,667
e-learningコンテンツ制作・維持費	4,620,000	0	4,620,000
海外研修補助金	58,991	0	58,991
論文賞賞金	500,000	0	500,000
論文賞賞金(JJRM)	200,000	0	200,000
論文賞賞金(PRM)	300,000	0	300,000
地方会事務局費	7,960,000	0	7,960,000
会員名簿作成費	14,696	0	14,696
用語集作成費	7,745,332	0	7,745,332
国際化推進費支出	597,050	0	597,050

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
給料手当	19,423,147	0	19,423,147
退職給付費用	589,787	0	589,787
福利厚生費	3,411,734	0	3,411,734
旅費交通費	1,522,147	0	1,522,147
ホームページ維持管理費	625,112	0	625,112
通信運搬費	2,441,297	0	2,441,297
情報関連整備費	1,464,508	0	1,464,508
什器備品費	402,553	0	402,553
消耗品費	1,705,551	0	1,705,551
印刷製本費	779,543	0	779,543
光熱水料費	642,809	0	642,809
賃借料	12,815,890	0	12,815,890
租税公課	2,422,820	0	2,422,820
負担金	6,000,000	0	6,000,000
減価償却費	6,918,104	0	6,918,104
支払手数料	2,079,253	0	2,079,253
業務委託費	44,714,917	0	44,714,917
雑費	577,572	0	577,572
管理費	0	19,230,895	19,230,895
給料手当	0	2,902,309	2,902,309
退職給付費用	0	88,129	88,129
福利厚生費	0	509,799	509,799
理事会費	0	1,866,655	1,866,655
代議員総会費	0	235,176	235,176
旅費交通費	0	227,447	227,447
顧問料	0	2,194,080	2,194,080
ホームページ維持管理費	0	93,408	93,408
通信運搬費	0	364,791	364,791
情報関連整備費	0	218,835	218,835
什器備品費	0	60,152	60,152
消耗品費	0	254,853	254,853
印刷製本費	0	116,484	116,484
光熱水料費	0	96,052	96,052
賃借料	0	1,915,018	1,915,018
租税公課	0	362,030	362,030
負担金	0	4,706,650	4,706,650
減価償却費	0	1,033,740	1,033,740
支払手数料	0	310,693	310,693
事務委託費	0	1,588,290	1,588,290
雑費	0	86,304	86,304
経常費用計	558,663,181	19,230,895	577,894,076
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 79,012,949	66,291,466	△ 12,721,483
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 79,012,949	66,291,466	△ 12,721,483
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 79,012,949	66,291,466	△ 12,721,483
当期一般正味財産増減額	△ 79,012,949	66,291,466	△ 12,721,483
一般正味財産期首残高	172,786,149	220,996,718	393,782,867
一般正味財産期末残高	93,773,200	287,288,184	381,061,384
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	93,773,200	287,288,184	381,061,384

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ①有形固定資産
 - 建物附属設備・・・定額法
 - 什器備品・・・定率法
 - ②無形固定資産
 - ソフトウェア・・・定額法
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式による。
- (5) 貸借対照表内訳表について
当社は、公益事業以外の事業を行っていないため、貸借対照表内訳表は作成していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学術研究助成資産	60,000,000	0	0	60,000,000
学術集会事業積立資産	10,001,220	100	0	10,001,320
退職給付引当特定資産	2,422,486	677,916	0	3,100,402
小 計	72,423,706	678,016	0	73,101,722
合 計	172,423,706	678,016	0	173,101,722

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	100,000,000	—
小 計	100,000,000	0	100,000,000	—
特定資産				
学術研究助成資産	60,000,000	0	60,000,000	—
学術集会事業積立資産	10,001,320	0	10,001,320	—
退職給付引当特定資産	3,100,402	0	0	3,100,402
小 計	73,101,722	0	70,001,320	3,100,402
合 計	173,101,722	0	170,001,320	3,100,402

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	10,465,200	3,640,627	6,824,573
什器備品	2,002,182	1,327,475	674,707
ソフトウェア	34,370,960	14,404,426	19,966,534
合 計	46,838,342	19,372,528	27,465,814

財産目録

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
現金 預金	手元保管 普通預金	三菱UFJ銀行 池袋東口支店	運転資金として	58,049	
		三菱UFJ銀行 池袋東口支店	運転資金として	107,238,661	
		三菱UFJ銀行 池袋東口支店	運転資金として	1,425,547	
		三菱UFJ銀行 神楽坂支店	運転資金として	2,179,813	
		三菱UFJ銀行 神田支店	運転資金として	17,500,946	
		三井住友銀行 千川支店	運転資金として	430,222	
		東京シティ信用金庫 神楽坂支店	運転資金として	2,758,245	
		住信SBIネット銀行 法人第一支店	運転資金として	28,711,075	
		郵便貯金 ゆうちょ銀行	運転資金として	4,407,139	
		郵便振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として	2,638,376	
		未収金	(株)パシオン他	有料転載許諾料 他	1,467,813
		前払金	東京国際フォーラム他	2021年10月開催試験会場費 他	709,640
立替金	一般社団法人日本専門医機構	専門医更新認定料立替	3,344,000		
仮払金	第59回学術集會会長	第59回学術集會開催準備資金 他	15,000,000		
流動資産合計				187,869,526	
(固定資産)					
基本財産					
	定期預金	三菱UFJ信託銀行 池袋支店	管理運営用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている	100,000,000	
特定資産					
	学術研究助成積立資産	三菱UFJ銀行 池袋東口支店	公益目的事業財産として管理・運営している	60,000,000	
	学術集會事業積立資産	三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業財産として管理・運営している	10,001,320	
	退職給付引当資産	東京シティ信用金庫 神楽坂支店	職員に対する退職金に備えたもの	3,100,402	
その他固定資産					
	建物附属設備	新事務所内装工事 他	共用財産であり使用実態に応じて区分している。 うち公益目的保有財産 うち管理運営用財産	5,732,641 1,091,932	
	什器備品	サーバー・新事務所机 他	共用財産であり使用実態に応じて区分している。 うち公益目的保有財産 うち管理運営用財産	566,754 107,953	
	ソフトウェア	会員管理システム・会計ソフト 他	共用財産であり使用実態に応じて区分している。 うち公益目的保有財産 うち管理運営用財産	16,771,889 3,194,645	
	保証金	(株)アスイント 内神田東誠ビル	共用財産であり使用実態に応じて区分している。 うち公益目的保有財産 うち管理運営用財産	3,049,410 580,840	
	長期貸付金	一般社団法人日本専門医機構	機構運営資金	2,885,600	
固定資産合計				207,083,386	
資産合計				394,952,912	
(流動負債)					
	未払金	日本コンベンションサービス(株)	第4回秋季学術集會負担金 他	8,424,132	
	前受金	研修会参加費他	研修会参加者 他	820,000	
	預り金	神田税務署 他	源泉所得税、社会保険料 他	401,594	
	未払消費税等	神田税務署		1,145,400	
流動負債合計				10,791,126	
(固定負債)					
	退職給付引当金			3,100,402	
固定負債合計				3,100,402	
負債合計				13,891,528	
正味財産				381,061,384	

監査報告書

令和3年4月22日

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会
理事長 久保 俊一 殿

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会
監事

和田 郁雄 

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会
監事

道免 和久 

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会
監事

川手 信行 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じ説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属証明書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告・事業報告の附属明細書の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。